



昨年8～11月に、市政のさまざまな分野・テーマごとに市民団体の代表などを招き、全9回の懇談会を開催。市長や幹部がいただいたご意見・ご提案に回答しました。その中から、一部を紹介します。

■各分野・テーマ、開催日

- 【防災・市民安全】安全・安心なまちづくり↓8月17日
- 【高校生】新しい時代への私たちが提案↓8月26日
- 【環境】環境と協働↓10月1日
- 【生涯学習】少子高齢化社会における生涯学習活動の推進↓10月14日
- 【福祉】健康で安心して暮らせる地域福祉のあり方↓10月29日
- 【産業】農商工連携について↓11月1日
- 【次世代】地域における子育て支援↓11月10日
- 【市民参加・市民協働】市民参加と協働によるまちづくり↓11月11日
- 【まちづくり】地球温暖化防止とまちづくり↓11月15日

をし、みんなで環境を守っていくという意識を高めていくことが必要だと思っています。

答 道路の樹木や花の管理は、沿線住民の皆さん・企業・学校などの街路樹愛護会や、道路・河川などを定期的に清掃するアダプトプログラムなどで、協働をしていただいています(JR安城駅からデンパークまでのフラワーロードなど)。まずは、身の周りのできるところから、緑化を進めてみませんか。行政もできる範囲で協力します。

【環境】環境ボランティアとの協働に指針を

問 現在、行政と環境ボランティアは、さまざまな活動で協働事業を実践し、多くの成果をあげています。しかし、現状では、行政と各ボランティアとが個別で各事業を実施しているのではないかと思います。協働で事業をする場合、何か指針をつくってはどうでしょうか。

答 現在は、「あいち協働ルールブック2004」が協働の指針となっております。自治基本条例の施行後、市民参加条例の策定に引き続き、「(仮称)協働に関する指針」を策定していきたいと考えています。

問▼秘書課広報広聴係
(871)2202

【防災・市民安全】自主防犯活動

問 わたしたちの町内会では、年間を通して青色パトロール車などの夜間パトロールや、昼間の子ども見守り活動に取り組んでいます。これは、直接的な犯罪抑止力だけでなく、「協力、ふれあいの輪の広がり」にもなっています。今後も、町内会活動の一環として継続しますので、市も協力をお願いします。

答 市内の犯罪発生件数は、平成15年以降、自主防犯活動の活性化により減少してきたと思います。各町内のパトロール活動には、感謝申し上げます。今後、パトロール用品の無償提供や、青パト活動への補助など、できる範囲での支援を続けていきます。

【高校生】市内緑化の推進

問 市内にある街路樹や花壇、フラワーポットなどをもっと充実させて欲しい。緑豊かな生活を

【生涯学習】ブックスタート

問 子どもたちは、本を読む機会が減っているように感じます。幼いころから本に親しんでもらうために、4か月健診くらいから、ブックスタートを始めてはどうでしょうか。

答 ブックスタートについては、子どもの読書活動を推進する上で、大変意義深い事業の一つと考えます。その際、ただ本を配布するのではなく、安城の独自色を出したものにしていきたいです。例えば、環境に関する絵本であったり、安城に縁の深い新美南吉に関するものであったり。しばらく時間をいただきたいと思いますが、今後実施に向けて検討していきます。

※ブックスタートとは、絵本を通して赤ちゃんにふれあう大切さを実演で伝え、本を手渡しする事業。





総務部長



【福祉】災害時要援護者支援制度に関する、要援護者の個人情報取り扱い

問 要援護者支援制度を活用するためには、地域の要援護者の情報を、同じ町内に住んでいる町内会・自主防災会の役員、また、福祉委員や同じ組の組長も知っておく必要があると思えます。福祉委員や組長会議で、口頭で伝える方法が良いと思いますが、個人情報の取り扱いについて、誤りがあればご指摘ください。また、この制度の個人情報について、この制度の個人情報についてお伝えくださるようお願いいたします。

答 災害時要援護者支援制度は、災害時の支援だけではなく、日ごろの見守り活動への使用も想定し、同意を得た上で、個人情報登録していただいております。情報を活用する支援者の範囲は、自主防災組織、町内福祉委員会の役員、民生児童委員、地域支援者としており、組長も含まれると考えています。なお、制度創設から時間が経過しているため、関係者へ改めて趣旨の説明をしております。

【産業】安城市のビジョン

問 安城市を全国にアピールするために、何を前面に打ち出していきたいですか。明治時代には「日本デンマーク」として全国的に知られ、農業を中心に、いろいろな産業が発展したと思えます。現在では、内陸工業都市のイメージが強くなってきていると思えます。

答 現在、本市の主要産業は自動車関連産業です。しかし、それだけでは、安城をアピールするということ面で、少し物足りなく感じます。そこで、農作物であれば、直接地元の人にも行き渡り、安城の名前も広まりやすくなると思えます。自動車産業も従来の事業だけでなく、新しい製品開発にも力を入れていくという話も聞きます。これから、農工商が連携し、産業面でアピールできるように努めたいと考えています。

【次世代】児童保育

問 現在の児童保育は、小学1〜3年生を対象としています。しかし、4年生の受け入れも求める声が、保護者から強くあります。放課後や休校時に、安全に過ごせる環境を確保することが必要です。4年生まで拡大できないでしょうか。

答 児童クラブは利用者が増加しています。利用人数が多い児童クラブは、第2クラブを建設し、3年生までは最大限受け入れるよう努めています。施設に余裕のないところが多く、今後も、3年生



【市民参加・市民協働】市民参加と協働によるまちづくり

問 安城市自治基本条例では、自治の実現のために、市民参加と協働によるまちづくりを進めるとあります。総合計画では、どのようなまちを目標として推進していくか、なかなか想像できません。現在は、財政・福祉・市民サービスなどが充実していると感じていますが、市民一人

ひとりが、主体的にまちづくりに関わるには、何が必要なのか、それも含めて考え、行動する市民力の向上を図っていかれたらと思います。

答 市民参加と協働の実現のためには、市民のエンパワーメントを高めることが大切であると考えています。そのためには、開かれた市政、市政に関する情報の提供が欠かせないと思えます。市の機関だけでなく、地域住民のコミュニティが、積極的に公共的なサービスの提供主体となり、教育・子育て・まちづくり・介護・福祉など身近な分野で、共助の精神で活動する「新しい公共」の考え方もあるのではないかと思います。

【まちづくり】心豊かなまちづくり

問 北部地区、三河安城地区、桜井地区など、区画整理で、とても住みやすいまちができました。これからは、物理的ではなく、精神的に住みやすいまち、心に潤いができるようなまちづくりをお願いします。

答 検討中ではありますが、安城と縁の深い童話作家「新美南吉」にちなんだまちづくりをしてはと考えています。例えば、

ご利用ください、ご意見BOX

あなたの声が市長に届くご意見BOX。市政に対するご意見やご提案を募集し、今後の行政に役立てていきたいと考えています。未来の安城を育てるための、前向きなご意見やご提案をお待ちしています。用紙は、市役所1階案内・市政情報コーナー・各地区公民館などで配布していますので、利用してください。



南吉がかつて教鞭をとった安城高等女学校のあった中心市街地の道路で、南吉の名称を冠した通りを作るといのはどうでしょう。南吉の物語を思い起こすような装飾や、歩いて楽しめる工夫など、新美南吉を活かした

まちづくりを、市民のみなさんと検討していきたいと思えます。また、市外の人にも認知されるよう、今後、市民から幅広く意見を聞き、研究していく必要があると考えています。